

一年間、愛宕小学校をご支援くださり、 本当にありがとうございました！

3月24日(金)、令和4年度の愛宕小学校修了式を行いました。

感染防止対策が少しずつ緩和される中で、以前のように地域や保護者の皆さんに開かれた学校に戻すと同時に、新しい学校教育の在り方を模索する1年間でした。この一年で、子どもたち一人ひとりがたくさん学び、大きく成長することができたのも、保護者の皆様、地域の皆様の温かいお力添えがあったからこそです。本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

次年度は、さらにコロナ禍以前の生活が戻ってくることが期待されます。さらに地域や保護者の皆様と密接につながり、子どもたちが主体的・対話的に生き生きと学ぶ学校をめざして頑張ってまいります。今後とも、愛宕小学校に変わらぬご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

～三学期の学校教育活動を以下のとおりご報告いたします～

福祉委員会児童が「汐騒の詩」さんを訪問

1月16日(月)、委員会活動の時間に、福祉委員会の子どもたちが、「汐騒の詩(しおさいのうた)」さんを訪問させていただきました。「汐騒の詩」さんは、校区内にあるデイサービスセンターとサービス付き高齢者向け住宅(高齢者生涯ハウス)を併設した高齢者施設で、毎年、子どもたちが交流活動をさせていただいています。



施設内に入らせていただくと、明るく、広くて綺麗なデイルームにたくさんの方があつまって、楽しそうに活動をしてみえました。子どもたちが挨拶をして、メッセージカードをプレゼントすると、皆さん、嬉しそうな笑顔で応えてくださいました。そして、皆さんが縫われた雑巾を寄付していただきました。本当にありがとうございました。学校で、大切にに使わせていただきます。

新型コロナウイルス感染拡大により、ここ2年は対面での交流ができませんでした。今年、こうして実際に施設にお邪魔して交流をさせていただいたことを本当に嬉しく思っています。次年度も、どうぞ宜しくお願いいたします。

地域の皆さんにご協力いただき、「昔の遊び」を体験

1月23日(月),地域の皆さん,学習支援ボランティアさんにご協力いただき,1年生が「昔の遊び」体験をさせていただきました。

この「昔の遊び」体験は,以前からの恒例行事だったのですが,コロナ禍により,この2年は実現できずにおりました。その間に,職員の入れ替わりもありましたので,どのように体験をさせていただいていたのか,協力いただいていたボランティアさんにお話を伺い,1年生担任が準備を進めていきました。

たくさんのボランティアさんにご参加いただけたおかげで,「あやとり」「お手玉」「おはじき」「めんこ」「けん玉」「こま回し」の6つのコーナーができ,子どもたちはそれぞれのコーナーを回って,楽しく遊ばせていただきました。

ボランティアさんからも「子どもたちと一緒に昔の遊びができて,楽しかった」「子どもたちと,遊びを通してふれ合えて,嬉しかった」とご感想をいただきました。

昔の遊びには,人とのふれ合い,身体感覚の発達促進,簡単にはできない(少し練習がいる)面白さがある,といった良さがあります。モニターを見て指先だけで遊ぶことが多い現代の子どもたちですが,身体を使った体験的な活動をたくさんさせてあげたいと改めて思いました。

ご協力いただいた地域の皆様,ボランティアの皆様,本当にありがとうございました。



地域の皆様,ボランティアの皆様に来ていただき,子どもたちも大喜びです。「宜しく願います」1年生の子どもたちも,元気よく挨拶ができました。



授業参観を実施しました

1月26日(木)、2限に分散して、本年度最後の授業参観を行いました。

6年生は卒業を控え、「ありがとうの会」と題して、一人一人がおうちの人への感謝の気持ちを綴った作文を朗読しました。



どの学年、どのクラスにおいても、子どもたち一人ひとりの成長と、仲間とのつながりの深まりが見られ、温かい雰囲気の中で授業が進んでいました。

保護者の皆様に、いつもご支援いただいているおかげです。本当にありがとうございます。



4年生は、外国語活動の授業で、子どもたちが英語で自分のお気に入り表現していました。

3年生では、Chromebookを使って、学習を進める様子を参観していただきました。



ゴール型ゲームを4年生が楽しんでいました

2月の体育科の授業では、体づくり運動領域として「なわとび」、ゲーム・ボール運動領域として「ゴール型ゲーム」に、各学年が取り組みました。

2月1日(水)、運動場では、4年生が3人対3人、2人対2人のゴール型ゲームを楽しんでいました。チームによって、守備や攻撃の際の志向が違っているので、とても面白い学習となっていました。

最初は、守備側全員がボールに向かう団子状態でしたが、攻撃側が味方にパスができるようになると、守備側がゴールを守ればいいと志向を変えていきました。ただ、守備側全員がゴール前には、攻撃側にフリーのボールを持たれてしまいます。そこで、一人がボール保持者に向かうことに。すると、攻撃側の非ボール保持者が空いたスペースに動いて、ボールを呼ぶ様子が現れました。ボールだけでなく、味方や相手の選手の位置、空いたスペースと、子どもたちの視線がよく動くようになっていきました。ゲームに出ていない子たちも、コートで一緒に動きながら考え、選手に声かけをしています。

授業の間、しっかりと考え動き続ける子どもたちの様子に感心しました。



守備側の志向として、ゴール前をしっかりと守ろうとしますが、攻撃側にフリーにボールを持たれてしまいます。



そこで、ボール保持者に守備側が一人つくことに。攻撃側は、非ボール保持者が重要になってきます。

平子さんから戦争や地域の歴史について教わりました

2月1日(水)、地域にお住まいの元愛宕公民館長の平子さんから、6学年児童が、戦争や地域の歴史についてお話を聞かせていただきました。

平子さんは、地域の歴史について研究を重ねてみえて、公民館の歴史講座の講師も務められた方です。6学年の各クラスの教室で、子どもたちの質問に合わせて話を進めてくださいました。

戦争当時、鈴鹿市には大きな軍事施設があり、その遺構が今もたくさん残っていることを、写真や地図を見せながら丁寧に教えてくださり、子どもたちも熱心に聞き入っていました。

翌日の中日新聞には、授業の様子が掲載されました。職員室前の掲示板には、6年生以外の児童からも、感想が寄せられ掲示されています。

世界に目を向けると、未だに悲惨な侵略戦争が行われています。戦争をなくすために、私たちにも、「できること」「やらなければいけないこと」がまだあるはずです。子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。



本年度2度目の対面型児童集会を行いました



2月1日(水)5時間目に、本年度2回目の対面型全校児童集会を体育館で行いました。司会進行の代表委員さんも、2回目の児童集会なので今回は見通しがつき、十分に準備を行って臨んでくれました。

はじめに、愛宕地区体育振興会様から、スポーツ功労者として6年生の児童二人が表彰されました。二人は、トランポリン、体操で、それぞれ全国大会に出場して活躍しているのです。愛宕小の仲間として誇らしい気持ちになりました。

児童会各委員会活動からの発表や提案もたくさんあり、内容の濃い1時間となりました。5、6年生がリーダーとなった児童会活動により、学校全体がつながり、学年を越えて子どもたちの一体感が増してきたように感じます。来年度は、さらに児童会活動を発展させていきたいです。



職員研修「子どもレポート交流会」

2月1日(水)放課後に、職員研修「子どもレポート交流会」を行いました。この取組は、年に2回実施しており、各クラスの担任教員が、自身の学級経営と子どもたちの様子や変容を報告し合い、課題を検証したり、学び合ったりするものです。

交流会の中で、私たち教員が、子どもたちの生活背景をもっとしっかり見つめ、その気持ちに寄り添い、保護者とつながって、子どもたちを



支えていくことが大切だと話し合いました。次年度は、これまで以上にご家庭を積極的に訪問して、保護者の皆様ともっとお話をしていきたいと思えます。

「みえスタディチェック」の結果分析・検討

2月3日(金)、1月に5年生児童が行った「第2回みえスタディチェック」の結果分析・検討を、全教員で行いました。

三重県・三重県教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの希望と未来を支える学力を育てていく取組として「みえの学力向上県民運動」を平成24年度から展開しています。みえスタディチェックは、その取組の一環として、三重県教育委員会が以下の目的で作成し、県内小中学校で行われているものです。

【目的】

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。



4月18日(火)には、6学年児童を対象に、全国学力・学習状況調査が実施されます。子どもたちの課題、即ち、本校教育の課題の改善に向けて、学校でも取組を進めていきます。

ご家庭におかれましても、春休みも、学校からの宿題だけでなく、お子様の課題に応じて復習等をすすめていただければと思います。

文部科学省「子供の学び応援サイト」、「みえの学力向上県民運動」といったサイトもぜひご活用ください。

【子どもの学び応援サイト】

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm

【みえの学力向上県民運動】 <http://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/>

中庭に「小人村」ができました

まつかぜ学級の子どもたちが、人権センターの萩先生にアドバイスを受け、二学期から小人の世界づくりを楽しんできました。材料の木は、白子の横田木材店さんから寄付していただいたものです。

三学期は、4年生の子どもたちとのコラボレーションを行いました。まつかぜ学級の子どもたちが先生となり、小人の世界の作り方を教えていきました。素敵な作品がいっぱい出来上がりました。

2月7日(火)、それらを中庭に展示して、「小人村」を作りました。休み時間には、全校の子どもたちが見学に来て、中庭や渡り廊下が大賑わいでした。夢のある世界を鑑賞して、みんな素敵な笑顔になっていました。



千代崎歯科の北川先生にブラッシング指導をしていただきました



2月14日(火)、校医をしていただいている千代崎歯科の北川先生に、3年生の子どもたちがブラッシング指導をしていただきました。

歯磨きの大切さや磨き方のコツを教えた後、歯の汚れを染め出して、ブラッシングの実地訓練です。赤く染まった歯を鏡で見て驚きながらも、子どもたちは一生懸命にブラッシングの練習をしていました。大切な歯を守るために、毎日しっかりと時間をかけて、歯を磨いていきましょう。

北川先生、ご協力いただいた歯科衛生士の皆さん、本当にありがとうございました。

国語科の文学の授業づくりについて研修

2月14日(火)、桜花学園大学准教授の森川先生を招聘して、国語科の文学の授業づくりについて研修会を行いました。

子どもたちが主体的・対話的に文学作品を読み深めていくためには、作品中の「なぞ」に気づき、問いを作れることが、まず大切です。また、子どもたちの考えに多様性があること、言葉の意味を根拠として論証ができること、叙述から豊かに場面を想像できることが、問いの追究には必要です。授業をする先生も、子どもたちも、一緒になって一生懸命考え、これからの新しい授業像を学ぶことができました。



全校で集って6年生を送る会ができました

2月27日(月)2限目に、体育館で「6年生を送る会」を行いました。本年度は、換気を十分に行った上で、全校児童が体育館に集まって開催できました。

1年間、愛宕小学校の教育活動をご支援いただいた学校支援ボランティアの皆様も招待して、子どもたちの成長ぶりをご覧いただき、感謝の気持ちをお伝えしました。



学年ごとの出し物では、お世話になった6年生に、歌や劇などを披露しました。司会進行を担当した5年生も、とても立派な活動ぶりでした。

6年生の子どもたちは、穏やかな笑顔で在



校生の演技を見守っていました。

会の終わりには、6年生から5年生へ「伝統の火」が引き継がれました。また、卒業をお祝いして、5年生が作成したくす玉が割られました。

体育科の授業研修を行いました



2月28日(火)6時間目に、三重大学教育学部附属小学校の矢戸先生をお招きして、体育科の授業づくりについて研修を行いました。矢戸先生には、1月から今回を含めて3回来校いただき、本校の体育科の授業改善についてご指導をいただきました。

1月には、マット運動の示範授業をしていただきました。授業者が、「授業で扱う運動をどう捉え、どのような動きを狙うのか」「45分の授業をどのようにデザインするか」等、たくさん学びがありました。体育用具についてもご助言をいただき、それに基づき、マットを増やし、台車を用意して準備や片付けをしやすくしました。

今回は、本校教員の求めに応じて、ゴール型ゲーム(サッカー)の示範授業をしていただきました。途中、短い指示を2回しただけで、後は子どもたちが目的に向かって試行錯誤しながら主体的に動き、しっかりと運動量が確保された素晴らしい授業でした。授業におけるスポーツタイマーの使い方についても、学ばせていただきました。

けがの防止、体力の向上のためにも、体育の授業はとても重要です。学ばせていただいたことをしっかりと整理し、全校で取り組んでいきたいと思ひます。

鈴鹿高専の皆さんに STEAM 教育出前授業をしていただきました

3月1, 2日, 鈴鹿高専の下古谷教授, 大貫准教授, 学生の皆さんに来ていただき, 6年生の各クラスで, STEAM 教育出前授業をしていただきました。

STEAM 教育とは、急速に発展する技術や多様化する社会に対応できる人材を育成することを目的にしたもので、文部科学省のサイトでは、その目的を以下のように説明しています。

「AI などの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、文系・理系といった枠にとらわれず、各教科等の学びを基盤としつつ、さまざまな情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が求められています。」

STEAM 教育は、5つの科目の頭文字から名付けられました。

S (Science): 科学 T (Technology): 技術 E (Engineering): 工学
A (Art): 芸術や教養 M (Mathematics): 数学



Science では、自然科学の法則を学びます。Technology ではものづくりに関する技術を、Engineering では機械設計や機械工作に関する内容を、Art は芸術や文化的な教養を、Mathematics では、数学、プログラミング教育などを学びます。

今回の出前授業は、鈴鹿高専の2年生で開講されているデザイン基礎の授業の一環で、3Dプリンターで制作した立体錯視作品に触れさせてもらったり、パソコン内で作図した立体を実際に3Dプリンターで実物化する工程を見させてもらったりしました。鈴鹿高専の先生と学生さんがとても上手に教えてくれるので、6年生の子どもたちも興味津々な様子で聞き入っていました。



また、学生さん一人ひとりから、鈴鹿高専に進学した動機や、中学生時代に感じたことや学んだこと等を話していただいたので、キャリア教育としても、とても有意義な時間となりました。



鈴鹿高専の皆さん、本当にありがとうございました。

【授業後の子どもたちの感想から】（一部抜粋）

★3D プリンターを初めて見られたので、とてもうれしかったです。3D プリンターで作られた作品は、細かくてすごかったです。錯視を利用した作品には、びっくりしました。私は、この授業をしてもらって、高専に入ってみたいなど思えました。ありがとうございました。

★私は、3D プリンターはすごい機械だと思いましたが、パソコンでプログラムをしていた学生の皆さんは、もっとすごいと思いました。今回の授業を受けて、一つのものを作るのには何時間もかかり、たくさんのプログラミングをしていることも知って、身近にある車や机等の加工品をもっと大切に使っていきたいと思いました。

★ぼくは、将来、機械の中を作るのがやってみたくて、中学校でもパソコンに関する勉強をしてみたいと思っています。今日、皆さんのお話を聞いて、鈴鹿高専に行きたくなりました。学園祭にも行ってみたいです。愛宕小学校までわざわざ授業をしに来てくださり、ありがとうございました。

6 年生が奉仕作業をしてくれました

3月2日(木)午後から、6学年の子どもたちが、学校への奉仕作業をしてくれました。これは、6年間お世話になった学校へ感謝の気持ちをこめて行うもので、毎年6年生の恒例行事となっています。



学校の玄関の掃除、職員室前廊下の窓ふき、校内の溝掃除、プールサイド・外トイレの掃除、体育倉庫の整理整頓、靴箱・昇降口の戸の掃除、まつかぜ教室の掃除、中庭の整備等、たくさんの仕事を一生懸命にやってくれました。



学校をきれいにしてくれて、6年生の皆さん、ありがとう。

3 年生が「昔の人々の暮らし」について学習しました

3月3日、学校支援ボランティアの平子さん、横山さん、稲垣さんにお越しいただき、3年生の子どもたちが「昔の暮らし」について学習を行いました。

事前の打ち合わせで、お話の内容を分担してくださり、3人のコーナーを子どもたちが順に回らせていただく形式で行いました。平子さんからは、アイロンや蚊帳、電話、七輪等を使った人々の暮らしの様子を、横山さんからは、昔と今の紙幣や硬貨の違い、電球の明るさの変化等について、稲垣さんからは、白子駅の北西側が田んぼだった頃の校区の写真や伊勢湾台風の被害について、実体験に基づいた具体的で楽しいお話をしていただきました。

どのお話もとても興味深く、夢中になって聞いているうちに、2時間があっという間に過ぎてしまいました。平子さん、横山さん、稲垣さん、お忙しい中、たくさんの準備をしてくださり、本当にありがとうございました。



蚊帳の入り方について話されている平子さん 500円札をみせてくださる横山さん 江島地域の昔の写真を見せてくださっている稲垣さん

また、全校の保護者様や地域の皆様からも、貴重な「昔の道具」を多数お借りして、教室に展示させていただきました。子どもたちは、一つ一つの道具の前で立ち止まってじっくりと観察し、「何に使うのかな」「どうやって使うのかな」と友達と話し合ったり、先生やボランティアさんに質問したりしていました。



ご協力いただきました保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

学校環境整備ボランティアさんにご指導いただき、 プランターにお花を植えました

3月6日(月)、学校環境整備ボランティアの皆さんにご指導いただき、栽培委員5・6年生、福祉委員5年生が、プランターにお花を植える活動をしました。きれいに洗ったプランターに培養土を入れ、同じ色にならないようにキングソウと



プリムラジュリアンを配置

していきました。組み合わせが決まったら、ポットから出して根鉢を軽く取り、丁寧に植え付けていきました。

卒業式の会場にも飾らせてもらう予定です。ボランティアの皆さん、お忙しい中、ご指導ありがとうございました。



マリンホームさんを訪問させていただきました

3月6日(月)、学校のすぐ近くにある特別養護老人ホーム「伊勢マリンホーム」さんを、福祉委員会の6年生が訪問させていただきました。

伊勢マリンホームさんは、明るく、活力のある高齢化社会の構築に向けて高齢者の尊厳を支えるケアの確立を理念として、障害があっても自立の促進を図り、人が本来求める豊かで充実した日々が送れるよう、様々なサポートを行ってまいります。また、ケアハウスやグループホームといった事業も展開されてまいります。マリンホームさんには、現在、個室30名、4人部屋50名、ショートステイ10名の高齢者の方が暮らしていらっしゃるそうです。

コロナ禍以前には、お餅つき大会等の交流活動をさせていただいていましたが、この3年は、そういった活動も中止せざるを得ない状況でした。しかし、感染防止対策が変わってきたことから、今回、福祉委員の手作りメッセージカードとカレンダーを直接お渡しできる運びとなりました。安全のため、高齢者の方とは、ガラス越しにトランシーバーを使った会話となりましたが、喜んでいただけて、福祉委員の6年生の子どもたちも感激していました。

次年度は、交流活動をさらに発展できればと思っております。伊勢マリンホームの皆さん、本当にありがとうございました。



防災学習と避難訓練を行いました

3月10日(金)5限目に、全校で防災学習と避難訓練を行いました。

はじめに、オンラインで全校一斉に防災学習を行いました。教頭先生から、自身が東日本大震災の災害支援ボランティアとして東北を訪れた際に見たこと・聞いたことを伝えてもらいました。そして、「釜石の奇跡」について、以下のお話を聞きました。



地震発生直後、釜石東中学校の生徒達は直ちに学校を飛び出し、高台をめがけて走りました。近所の鶉住居(うのすまい)小学校の児童や先生たちは、校舎の3階に避難しようとしていましたが、「3階より高い津波が来たら大丈夫なの?」という声と避難する中学生の様子を見て、すぐに校舎を駆け下り、中学生の後に続きました。避難先指定の施設にたどり着いた後も、脇の崖が崩れかけている様子、津波が家々を壊している光景を見た中学生が「ここじゃだめだ!」と先導し、さらにうえの高台に避難をしました。高台に着いたとき、背後で巨大な津波が学校を、そして町を飲み込んでいました。

普段から真剣に訓練をしていたこと、自分で考えて行動する力をつけていたこと、周りを見て仲間と声を掛け合う習慣がついていたこと等が、「釜石の奇跡」を生んだのです。

続いて、運動場への避難訓練を行いました。避難してくる子どもたちは全員真剣な表情で、誰一人おしゃべりをする人はいませんでした。直前の教頭先生の話に、自分自身や愛宕小学校区を当てはめ、考えながら取り組んでいたからだと思います。



愛宕小学校区は、海に面した海拔の低い土地が多いですが、岸岡山や愛宕山といった高台もあります。また、江島スポーツ総合公園が大規模な避難施設となっています。いざという時に、どのように行動すればよいか、どんな備えをしておく必要があるか、子どもたちも私たち大人も、今一度真剣に考えておきたいものです。

算盤日本一，世界二位の先生から教わりました

3月13, 14日，校区で珠算教室を開いてみえる寄川さんに，3, 4年生が算盤の手ほどきをしていただきました。寄川さんは，算盤10段で，全国大会で優勝，さらに，世界大会でも二位になったことがある凄腕の方なのです。学校支援ボランティアに登録してくださっていて，毎年，算盤を教えに来てくださっています。



桁数がどれだけあっても，どんなにスピードが速くても，瞬時に計算をしてしまう寄川さんの暗算力に，子どもたちは目を丸くして驚いていました。そして，算盤の学習にも，とても意欲的に取り組んでいました。

寄川さん，算盤学習を楽しく支援してくださり，本当にありがとうございました。

学校図書館の貸し出し冊数がぐんと増えました

3月10日で，本年度の学校図書館の貸し出しを終了しました。

子どもたちの読書記録を見ますと，「1週間に1冊，年間で35冊」という学校目標は，ほとんどの子が達成できていました。中には，年間で200冊以上の本を借りてくれた子もいます。35冊に惜しくも届かなかった子には，「学級文庫やおうちの本，市立図書館江島分館（愛宕小校区には，市立図書館の分館があるのです！）の本でもいいので，3月中に目標達成できるように頑張ろう」と励ましました。

三学期，学校図書館の貸し出し冊数が大きく伸びたのは，冬休みにご家庭で取り組んでいただいた「親子読書」の影響も大きいのではないかと考えています。「親子読書カード」から，保護者の皆様の感想をいくつか紹介させていただきます。

- ★弟と妹と三人で大笑いしながら本を読んでいた，とても楽しそうでした。毎日，こんな時間があるといいなと思いました。
- ★最近，あまり本を読んでいなかったのですが，こうして子どもと一緒に読書ができて嬉しかったです。
- ★お兄ちゃんが妹に読み聞かせをしているのを傍で見守っていたのですが，妹にしっかりと内容が分かってもらえるように，面白く工夫をして読んでいる姿が，とても立派でした。
- ★娘と過ごす時間が少なく，一緒に本を読む機会もあまり作れていなかったのですが，親子読書ができて，とてもよかったです。

★久しぶりに、ゆっくりと、本に関わったクイズや話ができ、とても楽しい時間を過ごせました。

★普段の生活の慌ただしさ、忙しさを忘れさせてくれるようなホッとした時間を過ごせました。読んだ本の内容も相俟って、深呼吸したような気分転換の時間になりました。

★（リビングで子どもから宮沢賢治さんについて教わりながら読み聞かせてもらって）宮沢賢治さんについてよく知らなかったのですが、生い立ちから詳しく分かりました。賢治さんの小説、読んでみようと思いました。



図書館整備ボランティアさんが、図書館の本を修繕して、いつもいい状態に保ってくださったことも、子どもたちに図書館に通うエネルギーとなりました。

また、毎週火曜日の朝に、読み聞かせボランティアさんが各教

室へ行って魅力的な読み聞かせをしてくださったことも、読書への関心を高めてくれました。

ボランティアの皆さん、1年間、本当にありがとうございました。



校長室前の「図書巡回指導員さんのおすすめ本」コーナーも人気で、休み時間には、子どもたちが来て、廊下のベンチに座って読書をする姿が日常となりました。

春休みも、市立図書館江島分館等を活用して、たくさんの本を読んでほしいと思います。

【市立図書館江島分館】9時～17時（ギャラリーは21時まで）

休館日：金曜日、第1火曜日（1月を除く）、12月29日～翌年1月4日、
特別整理期間

卒業証書授与式 ～3月17日～

3月17日(金)、令和4年度愛宕小学校卒業証書授与式を挙行いたしました。卒業生64名が、希望に胸を膨らませて巣立っていきました。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。



本年度の給食が終了しました

3月22日、本年度の給食が終了しました。異物やアレルギー除去食材が混入しないように細心の注意を払いながら、毎日美味しい給食を作ってくださった給食調理員さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。



食器の片付け等で給食調理室に行った子どもたちが、調理員さんに自然に「いつもありがとうございます。」「一年間、ありがとうございました。」とお礼を言っていたのが素敵です。きっと、ご家庭や教室で、人に感謝の言葉を伝える大人を見て学んだのだと思います。



たくさんの人の協力と感謝の心で、愛宕小学校が成り立っていることを改めて感じ、胸が熱くなりました。

～理科の実験～フラスコの底から泡が！

2月のある日、理科室で4年生の子どもたちが、実験をしていました。覗いてみますと、「水の三態」についての授業です。

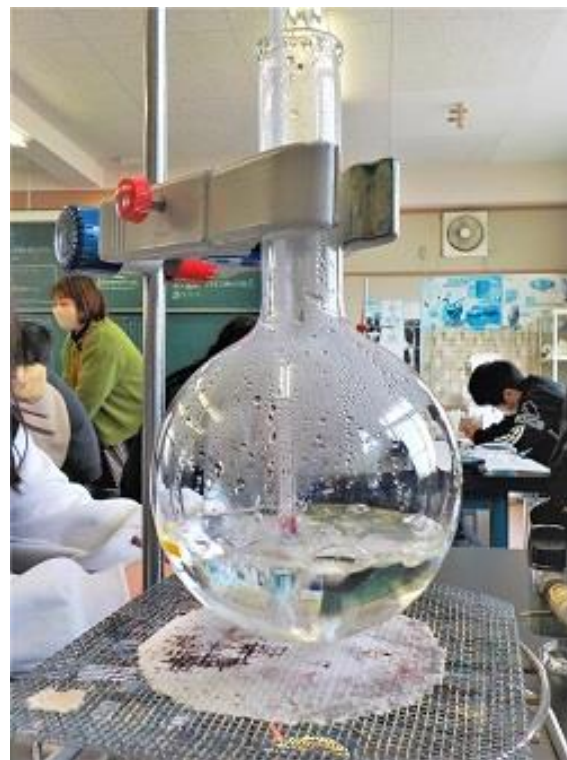
フラスコに水を入れ、スタンドに固定して、ガスコンロで温めます。100度近くになると、フラスコの底から泡が出てくるようになりました。それが、どう見ても、フラスコの底に穴が空いていて、空気が漏れて、泡が上がってくるように見えるのです。

「穴が空いて、空気が入ってきているのかな」「でも、水はこぼれてこないし。」「どうなっているの。」「泡の正体は何だろう。」

子どもたちは、目を皿のようにして観察しながら、話し合っています。全く不思議な現象です。

この後、泡の正体をつきとめるべく、実験の方法を考えていきました。

「不思議」は、探究の源です。「不思議」に出合わせることが、新しい学力観に基づいた授業づくりでは大切です。



第 6 回学校運営協議会の報告

2月27日(月)に行われた第6回学校運営協議会の内容を報告いたします。



1 あいさつ

【委員長】

6年生を送る会を参観して、子どもたちの様子に感激した。各学年、様々な表現があり、おもしろさがあり、児童は一生懸命頑張っていた。登校時、6年生に「見に行くよ。」と声を掛けたら「ありがとうございます」と応えてくれた。とても嬉しいやりとりができた。

【校長】

今年の6年生を送る会は、対面型で行うことができ、学校運営協議会委員の皆様や学校支援ボランティアさんにも参観いただけて良かった。どの子どもも一生懸命に取り組み、成就感をもてたようである。コロナ禍によって、音楽や体育、音読等、表現活動に制限がある期間が長かったため、次年度は、表現技能もしっかりと育てたい。また、人前で伸び伸びと表現することができるよう、自立心の育成と、違いを認め合える集団づくりにも努めていきたい。

2 2月の学校教育活動報告（学校より）

○外部講師を招いての授業研究

社会科授業研究：三重大学教職大学院 市川先生

国語科授業研究：桜花学園大学 森川先生

体育科授業研究：三重大学教育学部附属小 矢戸先生

○地域教材の開発と問いをつくって追及する授業実践3年

紀の郷（たくあん）作り 古川さん

山仙 yamasen の桃、伊勢いも、洋ラン、観葉植物栽培 和田さん

○入学説明会 入学式や学校生活、登下校について

学齢期の家庭教育の重要性について（親子の絆、親子読書等）

- 学校医 千代崎歯科 北川先生によるブラッシング指導 3年
- 児童集会 本年度2度目の対面型
- 6年生を送る会 対面型

3 協議事項

(1) 6年生を送る会を参観して（各委員より）

- ・初めて送る会を参観して感激した。「かわいい」から「立派」へ、学年が進むにつれ成長を感じた。
- ・年齢を追うごとの成長は、学校教育の成果でもある。
- ・勉強だけでなく、このような活動による子どもたちの絆づくりも必要だ。
- ・参観者にわかるよう、各演目の紹介があるとよい。

(2) 学校関係者評価（各委員より）

学力向上に向けた取組

- ・みえスタディチェックの結果から見える課題について補充学習は行ったか。
→5学年においては、4月の全国学力・学習状況調査を念頭に、しっかりと復習・補充学習を進めている。個に応じた学習指導も大切にしていきたい。また、1年間の総まとめとして、春休みにも宿題を出す。保護者への協力依頼も併せて行っていきたい。
- ・子どもたちが主体的・対話的に学ぶ授業への改善は進んでいるか。
→感染防止対策による活動制限も緩和されてきている。本年度は、研究教科を生活科・社会科として授業改善に取り組んできたが、道半ばである。次年度は、児童の主体性・対話性をさらに高め、他の教科でも授業改善を前進させたい。
- ・教員同士が、互いに授業を見合い、高め合う研修を確立してほしい。
→授業を日常的に見合えるようにするためにも、子どもたちが主体となって学習ができる学級集団を育成することに、全校で取り組んでいく。

子どもが安心して学べる環境づくり

- ・登校の見守りをされていて、いつも遅刻する児童がいることが気になる。
→遅刻の理由は様々だが、子どもたちの生活背景を踏まえ、保護者と連携して取組を行っていきたい。
- ・塩浜街道沿いの運動場フェンスの改修についての進捗状況はいかがか。
→市教育委員会へ重ねて陳情をしている。今後も学校の現状を丁寧に伝えていきたい。

家庭・地域との連携

- ・地域行事へ子どもたちがさらに積極的に参加してほしい。
→愛宕小学校区では、学校と地域が一緒につくる行事、子どもたちが企画・運営する地域行事があり、子どもたちと地域のつながりも深い。親子や子どもと地域との絆を一層深めていくために、学校としてさらに働きかけをしていきたい。

- ・スクリーンタイム削減等，家庭教育をどのように支援していくのか。
→昨年秋の就学時健診では，学校生活で必要となる「時間を守って行動する」ことを家庭でどのように学ばせるか，学校長から保護者に話をした。共働きにより保護者が多忙化する現代，家庭教育の在り方について保護者が学ぶことができるよう，学校からもさらに発信をする必要を感じている。また，PTA 家庭教育学級の活動も重要になってくると考える。学校とPTAとで連携した取組を模索していきたい。また，幼保から小学校へ滑らかな接続ができるよう，近隣の幼稚園や保育園との連携も図っていきたい。

学び働きやすい環境

- ・学校における時間外労働の実態と働き方改革の取組状況はいかがか。
→本年度，校時表を見直し，1日当たり約20分の放課後の時間を生み出したが，時間外労働時間は期待したほど減少していない。感染防止対策の緩和に応じた行事等の見直し作業等も影響していると思われる。今後，「定時間集中」という意識を職員に浸透させ，業務改善を進めていきたい。ただ，教員は，技術職であり，自らの技を磨く時間は労働時間とはならない。在校時間がそのまま労働時間とはならないところが問題だが，職員が少しでも早く帰れるよう，取組を進めていきたい。
- ・小学校でも教科担任制を進めているのか。
→小学校は，これまで学級担任制によって教育を行ってきた。それは，子どもたち一人ひとりを丁寧に見つめ，全人的な教育を大切にしてきたからである。担任教員と生活をともにすることで，基本的な生活習慣も丁寧に指導をしてきた。一方で，複数の目で子どもを見つめることも大切であり，本年度は高学年において一部の教科で教科担任制を実施している。学級担任制と教科担任制それぞれのよさを活かした教育を進めていきたい。

(3)令和5年度学校経営の改革方針(案)について

学校運営協議会の意見を受け，次年度の学校方針に以下の内容を加えた。

- ICTを効果的に活用した授業や家庭教育・家庭学習についての研修の実施
- 生活・社会・国語・算数科における，対話によって考えを深めていく授業実践を実現
- 職員一人ひとりの課題に応じた学びと新しい学力観に則った授業を生み出す職員研修の充実
- 全職員による授業公開と職員同士が学び合う機会の保障
- 授業や家庭における読書活動の推進，スクリーンタイムの削減
- PTAと連携した家庭の教育力向上・充実
- 挨拶の本質を学び，気持ちの伝わる挨拶のできる子どもの育成

※ 第1回～6回の学校運営協議会の内容は，学校HPに掲載しています。

令和5年度愛宕小学校 校時のお知らせ

本年度と下校時刻は概ね変わりませんが、2限後の業間休みを25分に増やし、児童会活動等の充実を図ります。その分、1限後の休み時間を5分にします。

令和 **5** 年度 校時表

鈴鹿市立愛宕小学校

平常 (火・木・金)

朝の会	8:20 ~ 8:25
朝の学習	8:25 ~ 8:40
1限	8:40 ~ 9:25
2限	9:30 ~ 10:15
業間	10:15 ~ 10:40
3限	10:40 ~ 11:25
4限	11:30 ~ 12:15
給食	12:15 ~ 12:55
昼休み	12:55 ~ 13:15
そうじ	13:15 ~ 13:30
5限	13:35 ~ 14:20
6限	14:25 ~ 15:10
帰りの会	15:10 ~ 15:20
下校	15:25

午前授業

朝の会	8:20 ~ 8:30
1限	8:30 ~ 9:15
2限	9:20 ~ 10:05
そうじ	10:05 ~ 10:20
3限	10:25 ~ 11:10
帰りの会	11:10 ~ 11:20
下校	11:25

月曜日 (委員会・クラブ)

5限	13:35 ~ 14:20
帰りの会	14:20 ~ 14:30
委員会・クラブのない学年の下校時刻	14:35
委員会・クラブ	14:35 ~ 15:20
下校	15:25

水曜日

朝の会	8:20 ~ 8:25
朝の学習	8:25 ~ 8:40
1限	8:40 ~ 9:25
2限	9:30 ~ 10:15
業間	10:15 ~ 10:40
3限	10:40 ~ 11:25
4限	11:30 ~ 12:15
給食	12:15 ~ 12:55
昼休み	12:55 ~ 13:05
5限	13:05 ~ 13:50
帰りの会	13:50 ~ 14:00
下校	14:05

下校時刻のめやす

	月	火	水	木	金	
1年生	通常 委ク	14:35	14:05	14:35	14:35	
2年生	通常 委ク	14:35				
3年生	通常 委ク	14:35				
4年生	通常 委	14:35		15:25	15:25	15:25
	ク	15:25				
5年生	通常	14:35				
	委ク	15:25				
6年生	通常	14:35				
	委ク	15:25				

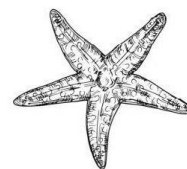


下校後に再び遊ぶときの帰宅時刻	春休み～9月(夏季)	17時30分
	10月・3月(修了式まで)	17時00分
	11月～2月(冬季)	16時30分



令和5年度の主な学校行事（予定）

- 【4月】6日(木)一学期始業式, 7日(金)入学式, 10日(月)給食開始 2~6年,
11日(火)1年生給食開始, 身体測定, 12日(水)地区別児童会,
16日(日)学校支援ボランティア集会 10:00~11:30
18日(火)全国学力・学習状況調査(6年), 21日(金)火災避難訓練,
27日(木)授業参観5限, 学級懇談会, (PTA総会は書面決議)
- 【5月】2日(火)遠足(予備日12日), 20日(土)地域行事「海岸清掃」※
11日(木), 15日(月)おうち確認デー(4限, 給食後下校),
25日(木)不審者対応訓練, 児童引き渡し訓練(午後),
- 【6月】6日(火)ブラッシング指導3年, 15日(木)交通安全教室(5学年),
16日(金), 17日(土)野外活動(5学年), 23日(金)授業参観
●令和5年度は、水泳授業(プール)を実施する予定です。
- 【7月】18日(火)給食終了, 18日(火)・19日(水)あゆみ渡し,
20日(木)一学期終業式, 「あたごの灯り」(地域づくり協議会主催行事)
- 【8月】1日(火)体育振興会ラジオ体操(愛宕小運動場),
(仮)18日(金)全校登校日, 26日(土)PTA奉仕作業



- 【9月】1日(金)二学期始業式, 避難訓練, 5日(火)給食開始,
22日(金)キッズウィークによる休業日, 30日(土)運動会
- 【10月】2日(月)代休(運動会), 13日(金)就学時健康診断(午後),
19日(木)・20日(金)修学旅行6年,
30日(月)地震津波避難・引き渡し訓練(地域合同)
- 【11月】3日(金)ライブイン愛宕(授業日), 6日(月)代休,
20日(月)薬の正しい使い方教室6年, 21日(火)授業参観,
(仮)30日(木)マラソン記録会(予備日12月1日)
- 【12月】7日(木), 8日(金)鈴鹿市音楽会,
20日(水)給食終了, 21日(木)あゆみ渡し(希望者)
22日(金)二学期終業式



- 【1月】9日(火)三学期始業式, 11日(木)給食開始, 26日(金)授業参観
- 【2月】27日(火)6年生を送る会
- 【3月】11日(月)防災学習・避難訓練, 21日(木)給食終了,
25日(月)修了式, ●卒業式日は未定



※海岸清掃について

海岸清掃は、若松地区と合同で、地域づくり協議会主催で年2回行われます。1回目は5月20日(土)です。(2回目の日程は決まり次第お伝えします。)参加は任意ですが、できるだけどちらかには参加していただければと思います。安全のため3年生以下は必ず保護者同伴で参加してください。詳しくは、4月に改めてご案内いたします。(午前中に実施予定です。)

今回お伝えしました学校・地域の行事予定は、今後の情勢等により変更になる場合があります。その際は、随時お知らせいたしますので、学校からの最新の連絡をご確認くださいませようお願いいたします。